

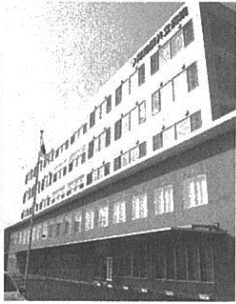
持ち、関係者一丸となって
蔓延防止、風評被害防止に
取り組む」と語った。

阿知須共立病院 新病院の内覧会

来月開院

山口市阿知須の阿知須共立病院は16日、昨年11月に完成した新病院の関係者向け内覧会を行った。当面は現在の施設で診察し、新病院は2月1日に開院、2日から診察を始める予定。同病院は1958年に開業。施設が古くなり、一部で耐震補強も必要になったため、2013年11月から現在の施設の近くで建設を進めていた。総事業費は約20億円。

鉄筋コンクリート5階建てで、延べ床面積は約8400平方メートル。病床数はこれまでと同じ35床で、磁



新しい阿知須共立病院

薬剤師募集

正社員・パート

山口市阿知須

気共鳴画像(MRI)やマンモグラフィなどの検査機器を最新のものに更新し、待合室を広くするなどした。

内覧会では、三好正規病院長らがテープカットを行った。三好病院長は「新病院竣工を機に、私たちは力を合わせ、地域の医療・福祉のさらなる充実におお一層の努力をしていく」とあいさつした。

下関市議選 あす告示

下関市議選(定数34)は18日、告示される。現職28

中潮	7.19
	17.30
	17.4.39
	15.17
高潮	38
	123
	37
	114
	37
	110
月	32.5
	30.36
	13.4

新病院が完成 来月診療開始

阿知須共立

山口市阿知須の阿知須共立病院が現在地の北西約350メートルに建設した新病院が完成し、16日、関係者に16日、公開した。2月2日から

後1時と3時の2回、トークショーとサイン会がある。

神戸市出身で1978年に俳優デビュー。98年ごろから日本画を本格的に描き始め、各地で個展を開いている。県内での開催は2009年4月以来、2度目という。

あいほらさんは15日、山口市熊野町の中国新聞山口支局を訪れ、絵画展をPR。プラス思考で前に進んでいってほしいという思いを込めて描いている。そのエネルギーを感じてもらえれば」と創作への思いを話した。

(川村奈菜)

ら新病院での診療を始める。

鉄筋5階建て延べ約8400平方メートル。1階に診察室、2階に手術室があり、3〜5階は入院病棟となる。

16日は県や市の職員、住民たち約120人を集めて内覧会があった。三好正規院長



(1)が「職員の力を合わせ、地域の医療福祉の充実に一層の努力をしたい」とあいさつした。

一般向けの内覧会は17日であり、午前10時から午後1時からの2回。阿知須共立病院 ☎0836(65)2200。



新病院が完成 来月1日開業

阿知須共立病院、20億円かけ診療設備も最新型に



テープカットして新病院の完成を祝う三好正規院長（中央）や来賓。16日、山口市
完成した阿知須共立病院の新病院。16日、山口市

山口市阿知須の医療法人協愛会阿知須共立病院（三好正規院長）が建設していた新病院が完成した。16日、県や市、県医師会関係者約100人を招いた内覧会があった。17日は一般向けの内覧会がある。

同病院は、1958年に開業。老朽化と東日本大震災を受けた耐震化の必要性から、創立50周年（2008年）事業として、現病院から直線距離で約300メートル離れた場所への新病院建設を決めた。総事業費約20億円をかけて13年11月に着工。昨年11月末に完成した。

新病院は、敷地面積約9千平方メートルに建設された鉄筋コンクリート造り5階建て、延べ床面積約8400平方メートル。1階は外来総合受付、外科、内科、整形外科、脳外科の各診療室、総合健

診センター、総合待合室、

診療科別の待合室など。2階に透析センターや手術室、リハビリテーション、事務管理部門などを配置。3～5階に一般と医療療養病床の計135病床がある。駐車場は100台収容。安全・安心な病院、地球

環境への配慮・省エネ推進、癒しの環境と快適性の追求、地域と共生する病院などを掲げ、MRIやマンモグラフィなど最新の診療設備を最新型に更新した。

この日は三好院長や県健康福祉部の岡神爾部次長や県医師会の小田悦郎会長らがテープカット。三好院長は「新病院の完成を機に地域の医療福祉の向上に一層努力していく」と述べた。

同病院は、29～31日に現病院の外来診療を中断し、開業する2月1日午前中に入院患者を移送。同2日から診療を開始する。

地域に根差した医療目指す

新築 移転 阿知須共立病院で内覧会



来月2日から診療開始

山口市阿知須の阿知須共立病院(三好正規院長)は16日、新築移転する新病院の内覧会を開催し、行政、医療、地権者など100人を招待した。これまで以上に地域に根差した病院を目指し、2月2日から診療を開始する。

新病院は、現病院から北西へ350㊦の場所。以前はサンパークあじすの駐車場だった。敷地面積は約9000平方㊦。建物は、鉄筋コンクリート5階建て。延べ床面積は約8400平方㊦。1階は外来、2階は手術室や透析センター、リハビリ室、3階から上は病室。2013年11月に着工

し、昨年11月30日に完成した。病床数135床、内科、外科、脳外科、整形外科の診療科目は変わらない。

三好院長は「老朽化と耐震化の影響があり、建て替えることになった。職員が設計の初期段階から細部に関与してくれたことに感謝している。地域に密着した医療、予防ケアを展開し、皆さんが楽しく安心して暮らせるよう尽力する」とあいさつ。来賓の県健康福祉部の岡紳爾次長は「地域の安心安全に寄与して」、県医師会の小田悦郎会長は「住民の期待と信頼にこたえて」と祝辞を述べた。

三好院長を中央に、岡次長や小田会長ら5人がテープカット。招待者たちは、最新の医療機器を備え、広々とした院内を見学し、新病院に期待を寄せた。17日は地域住民を対象とした内覧会も開催した。(岩本)

来月のオープンを記念し、テープカットする関係者(新阿知須共立病院で)